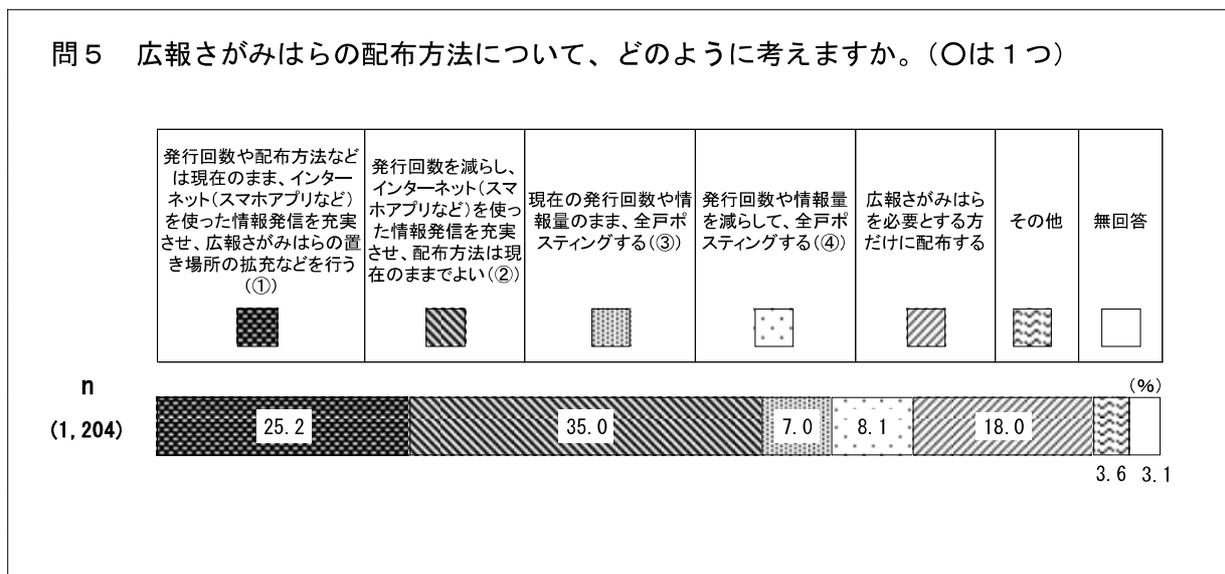


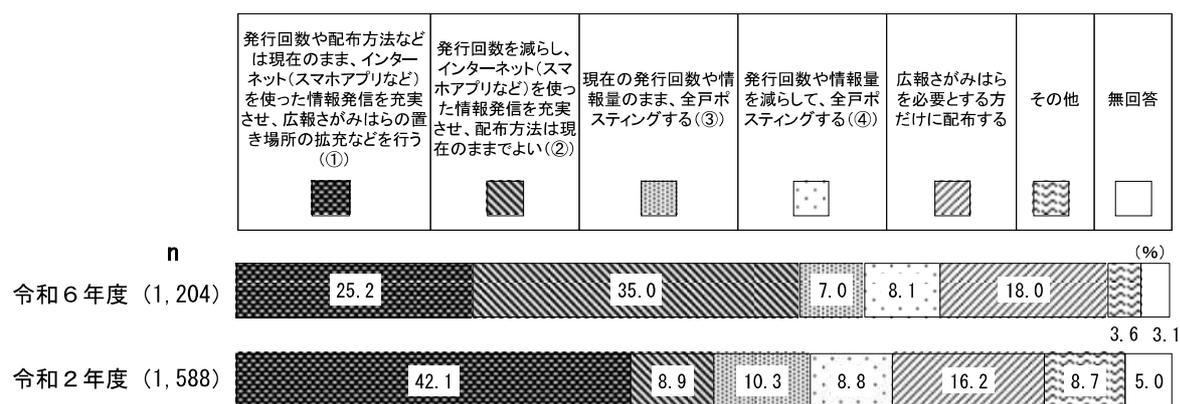
(5) 広報紙の配布方法



「広報さがみはら」の配布方法についてたずねたところ、「発行回数を減らし、インターネット(スマホアプリなど)を使った情報発信を充実させ、配布方法は現在のままでよい(②)」(35.0%)が3割半ばと最も高く、次いで、「発行回数や配布方法などは現在のまま、インターネット(スマホアプリなど)を使った情報発信を充実させ、広報さがみはらの置き場所の拡充などを行う(①)」(25.2%)、「広報さがみはらが必要とする方だけに配布する」(18.0%)、「発行回数や情報量を減らして、全戸ポストイングする(④)」(8.1%)、「現在の発行回数や情報量のまま、全戸ポストイングする(③)」(7.0%)と続いている。

<経年比較>

過去の調査結果と比較は、選択肢が一部異なるので参考に図示する。



※令和2年度のみ選択肢「予算を増やして、情報量をさらに充実させ、全戸ポストイングする」は「その他」にて合算している。

<性別・性／年齢別・区別結果>

性別でみると、大きな違いはみられない。

性／年齢別でみると、「発行回数を減らし、インターネット（スマホアプリなど）を使った情報発信を充実させ、配布方法は現在のままでよい（②）」は男女共に高くなっているが、女性30歳未満で5割半ばと最も高くなっている。

区別でみると、「広報さがみはらを必要とする方だけに配布する」は中央区で約2割と、他の区より4ポイント前後高くなっている。

